

東大阪中央ロータリークラブ

創立 昭和47年2月20日
 例会日 毎週月曜日 12:30~
 例会場所 シェラトン都ホテル大阪
 事務所 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-38
 〒543-0027 ロイヤルパークス桃坂1112号
 TEL. 06 (6772) 2320
 FAX. 06 (6772) 2327
 E-mail:hcrc@at.wakwak.com



会長 切石博之
 会長ノミニー 浅野光男
 副会長 宮崎康治
 幹事 細川勝治
 会報委員長 岡田忠彦

BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS

地域を育み大陸をつなぐ

2010~2011年度 国際ロータリー会長 レイ・クリンギンスミス

第1784例会 平成22年10月25日(月曜日) 第13号

本日の例会

10月25日(月)第3例会

- ◎ソング 「奉仕の理想」
- ◎卓話 「私から始める、世界が変わる」
 ゲストスピーカー 日本国際飢餓対策機構
 清家 弘久様
 (担当: 瀧田浩彦会員)
- ◎本日の献立 フランス料理

次回の例会

11月1日(月)第1例会

- ◎卓話 「ロータリー財団月間に因んで」
 (担当: 百済洋一会員)
- ◎本日の献立 松花堂弁当

前回の例会記録

10月18日(月)第2例会

- ◎ビジター 奈良RC 宮崎彰夫氏 他2名

会長挨拶

会長 切石博之

先日の例会は、松本ガバナーをお迎えして賑やかな例会でありました。例会前の懇談会では、映画・演劇の話で松本ガバナーと意気投合致しました。懇談会の中では月に1度の100%出席の話もあり次回の理事会で取り上げてみたいと思います。

さて、10月18日は発明王エジソンが亡くなった日です。彼は、天才とは、天が与える1%の「靈感」(インスピレーション)と、彼が流す「流汗」(パースピレーション)の99%からなるものであると言っています。また、人が70才になって日々を過ごすのを困難と感ずるようになれば、それはその人が、頭脳の活動的な青少年時代に、興味を感ずべきはずの無数の

事象・事物を見過ごしていた証拠である。70才になって隠居する人は、まあ、3年もたたぬ内に死ぬ覚悟でおらねばならない。80年前の1931年にエジソンは亡くなっていますから、今思えば、なかなかの見識かと思えます。

今日の俳句は、

露の身に往生際といふがあり 保坂リエ

露の身は露のようにはかなく消えやすい身に、ぎりぎりまで追いつめられたとき、以下に処すべきかの自問自答の思いなのでしょう。

幹事報告

幹事 細川勝治

1. 10月23日(土)クラブロータリー財団委員長会議には、百済ロータリー財団委員長に出席していただきますので宜しくお願い致します。
2. 地区大会当日のネームカードをポストに配布しています。10月29日(金)~30日(土)大阪国際会議場には必ずご持参下さい。
3. 11月11日(木)に開催されます東輪会合同例会のご案内とプログラムをポストに配布しています。出欠の回覧もしています。
4. 9月13日(月)に開催されました第3回クラブ協議会議事録作成のため各委員会委員長各位には当日の原稿をお願いしておりますが、まだご提出いただいております各委員会委員長各位にはご提出の程、よろしくごお願い致します。締切は20日(水)までとします。
5. 他クラブ例会変更及び休会の案内を掲示しています。

出席報告

岡田委員	
本日の会員数	39名
本日の出席者数	27名
本日の出席規定適用免除会員	11名
本日の出席率	77.14%
9月16日の修正出席率	90.63%

SAAニコニコ箱

大石SAA

小川会員 第1回ゴルフ同好会優勝させて頂きました。
ありがとうございました。

中塚会員 結婚記念日。

委員会報告

親睦活動委員会

委員長 松浦永郁

1. 第一回ゴルフ同好会

去る10月7日、城陽カントリークラブにて開催されました。15名の会員にご参加いただきました。優勝は小川会員でアウト43、イン43のグロス86、ネット70.4の成績でした。ベストは藤原会員でアウト40、イン44のグロス84でした。

卓話

「安全の基本」

安全コンサルタント 伊飼貴明様

1. 安全第一 (SAFETY・FIRST)

- ・1906年、USスチールのゲイリー会長が提唱
- ・経営の基本方針を安全第一、品質第二、生産第三
- ・当時、労働災害が多発し労働者が悲惨な状態
- ・敬虔なクリスチャンであったゲイリー氏は、安全対策の必要性に目覚め、安全対策を遂行することによって生産量の増加という大きな成果をあげた
- ・経営者が労働者に対して安全第一を宣言すること
- ・労働者に安全第一を指示命令することではない

2. 安全第一により得た成果

- ・労働者の負傷率を最小限に留めるべき工場の建設
- ・この計画に対する投資は、当時においてはけた外れ
- ・アメリカは、第一次大戦に1917年参戦した
- ・労働者が徴兵され、大量の労働者不足が発生。他の工場では機械が古く、事故が多いため熟練工を必要とした。熟練工には多額の賃金が必要
- ・USスチールは設備が整備されており熟練工が不要
- ・普通労働者の充足は容易。能率を上げ利潤を得た

3. 安全第一のために実行した概要

- ・工場の配列、機械のレイアウトを整理し、物の移動に「もつれ」が生じないようにした
- ・構内鉄道に、交通標識を設置した
- ・ミルとミルの間にトンネルを作り、労働者が機械を跨いで移動する機会を無くした
- ・全ての機械に安全装置（原型ではあるが）を設置
- ・工場内の照明を明るくし、常時清潔を保持した

4. 安全第一の実行例 (USA)

- ・1942年造船王のカイザー氏は、米海軍の要請を受け1年間に50隻の航空母艦の建造に着手した
- ・圧倒的な日本海軍により、一方的に負けていた時期
- ・安全第一を宣言し、安全委員会を設立し、パトロールを実施し、安全対策を徹底。産業医、定期健康診断、健康管理室を設立。労使協調体制を確立。
- ・この結果、記録的な短期間で空母の建造に成功した
- ・如何なる非常時でも安全第一であらねばならない

5. カサブランカ級 (カイザー級)

- ・レイテ沖海戦に同級18隻が参戦。空母35隻対4隻で圧倒的に優勢。同級2隻が日本海軍に撃沈された
- ・日本海軍の最後の海戦であり、日本海軍が消滅
- ・レイテ沖海戦については、日米で評価が全く違う。ニミッツは、レイテ湾の輸送品と兵を守ったことを絶賛

- ・日本では大和ほかによる艦砲射撃での空母撃沈
- ・ありふれた性能ではあったが、短時間に大量建造

6. ハインリッヒの法則 (USA)

- ・USAの旅行保険会社の損失防止部門の総括技術者
- ・1920~1930の5,000件以上の災害を分析
- ・1:29:300の法則を発表
- ・重大災害1件の発生に対して同様な原因の中規模災害が29件、障害の無い災害が300件発生している
- ・この結果、発生した災害の98%は予防可能
- ・1件の災害があれば、300回以上の不安全行動

7. ハインリッヒの研究結果

- ・災害事故は、ある事象から連鎖反応により発生する
- ・大多数の災害事故は不安全行動に起因する
- ・重傷・軽傷という程度は主として偶然の結果である
- ・不安全行動は訓練を行うことによって避けられる
- ・災害事故防止の技術は生産性向上の技術と共通
- ・安全な工場は、生産に対しても能率的である
- ・現場の監督・職長が災害事故防止のポイント

8. ヒューマンエラー

- ・TO ERR IS HUMAN(格言)
- ・過ちを犯すのは、人間たる証拠である(神ではない)
- ・安全システムを構築する場合は、人間はミスをするという前提で構築しなければならない
- ・不十分な安全システムは同種災害の再発を招く
- ・再発防止対策の徹底は最もコストの低い安全対策

9. ヒューマンエラーと対策

- ・平成14年以降について発生した産業事故100件について(平成15年12月、経済産業省発表)
- ・76件が誤作動・誤判断等の人的要因が直接的原因
- ・76件中66件(複数回答)がマニュアルの不遵守等運転・操作上のミスにより発生したもの
- ・16件はマニュアルの不整備等運転・操作基準の不備
- ・産業事故の66%がヒューマンエラーを原因